

第5章 多賀城市の景観特性及び課題

5-1 景観の特性

(1) 景観の構成

本市の景観の特徴は、古来より育まれてきた悠久の歴史と、それらを取り巻く豊かな自然、そして代々受け継がれてきた農業や伝統的な祭りのある生活、近年育まれてきた都市的な人間活動が一体となって、現在の都市景観が形成されていることです。

多賀城跡・多賀城廃寺跡などは身近にある歴史的景観として市民に親しまれており、また、遠景に見える奥羽山脈の眺望や、小丘陵から見下ろす街なみの眺望、砂押川・七北田川の水辺の潤いが、やすらぎのある自然的景観として親しまれています。

また、JR仙石線沿線は良好な住宅地として、国道45号、主要地方道仙台・塩釜線（産業道路）等の沿道は交通軸に沿って商工業が発展し、賑わいのある景観を有するなど、歴史や自然と調和した利便性の高い都市的景観が形成されています。

このように、本市の景観特性は、「歴史的景観」「自然的景観」「都市的景観」の3つの視点から捉えることができます。



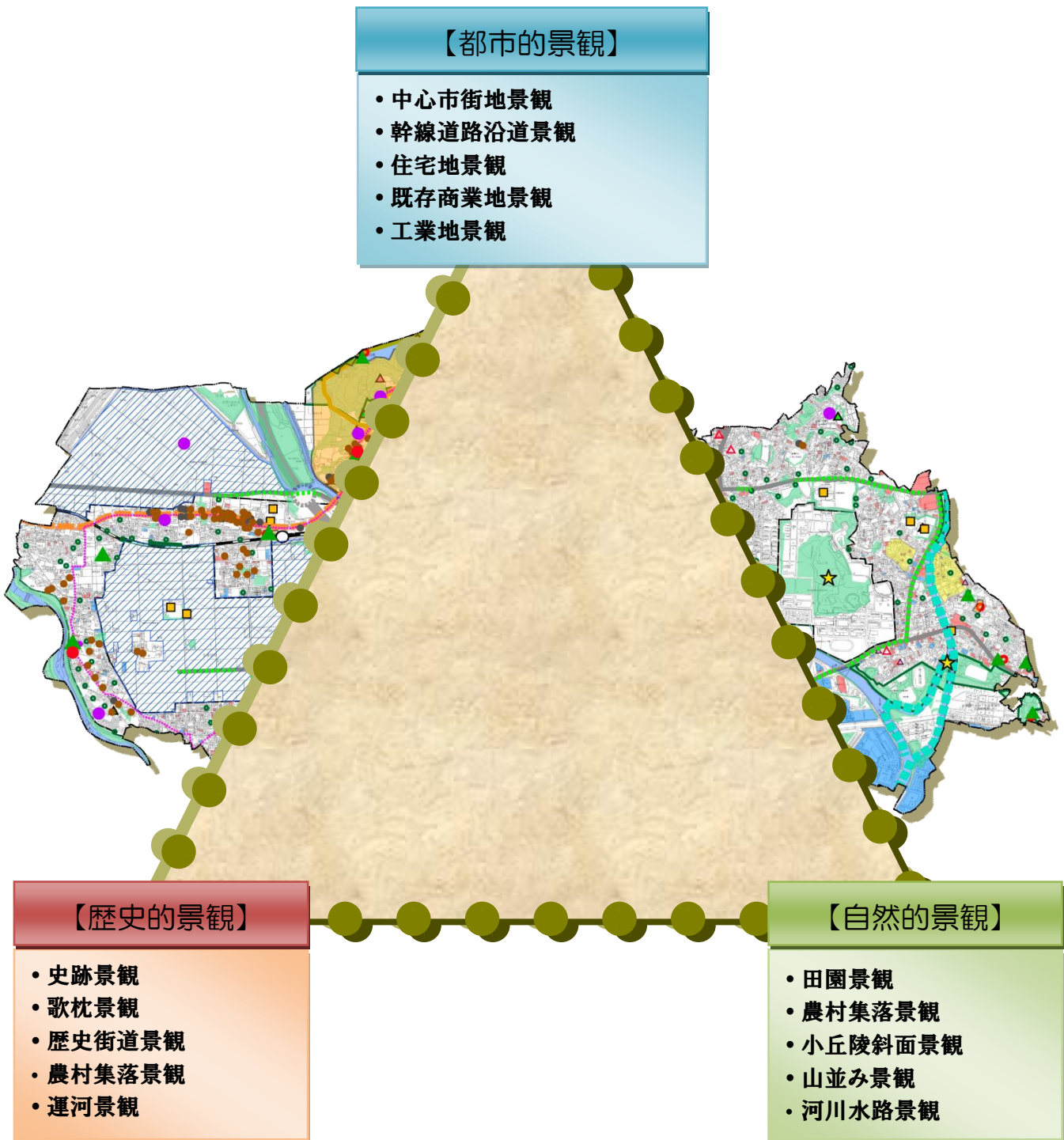


図 多賀城市の景観の構成

(2) 歴史的景観

本市では、縄文時代から近代にかけての遺跡や歴史遺産が分布していることからもちろなり、約6千年前から今日に至るまで人々の生活が営まれ続けています。

8世紀初め、仙台平野を一望できる高台に設置された「多賀城」は東北地方全体を治める政治・軍事の中心としての役割を果たしました。現在、^{たがしよあつたてりであと}多賀城跡附寺跡として国の特別史跡に指定され、市名の由来になっているなど市の景観の基盤となっています。

江戸時代になると、市内には13の村々が誕生し、営農を基盤とする集落が形成されていきました。現在でも山王・南宮地区の塩竈街道や八幡地区の「末の松山」「沖の井」といった名所・旧跡などととも古い面影を残しています。

貞山堀とも呼ばれる貞山運河は、伊達政宗の発案により開削が始まり、仙台平野における河川交通や物流、用排水路としての役割を担っていました。今なお船舶の航路に利用され、明治時代以降の石積み護岸が残るなど、生活に密着した歴史的な景観として地域住民に慕われています。

第二次世界大戦中には、東北唯一の海軍の軍需工場である多賀城海軍工廠^{*}が設置され、その範囲は、市域の1/4にわたりました。戦後は、工場地帯や陸上自衛隊多賀城駐屯地として利用され、本市の発展につながっています。

※多賀城海軍工廠：海軍工廠とは、第二次大戦中に艦船や飛行機、弾薬の開発・製造等を行った海軍の直轄工場のことで、多賀城では1943年から終戦まで、零戦の機銃や爆弾などを製造していました。

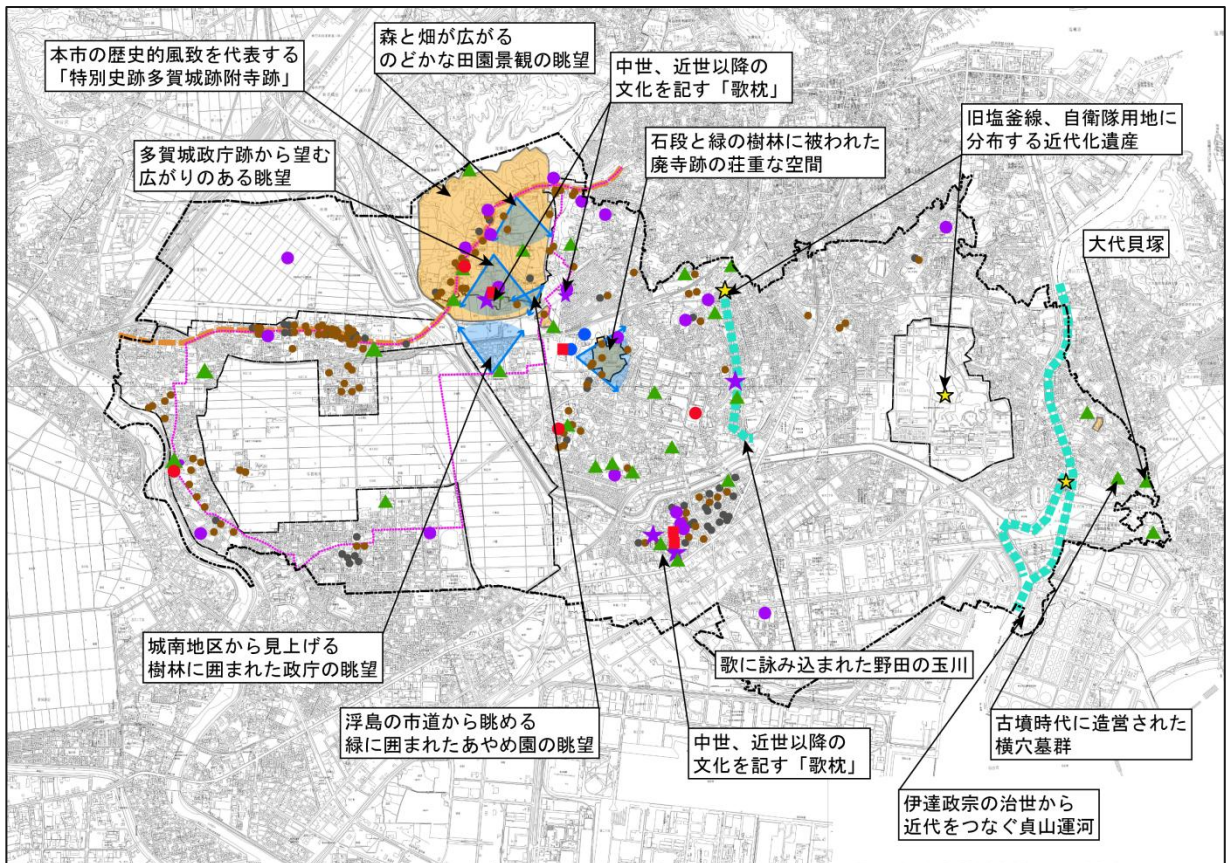
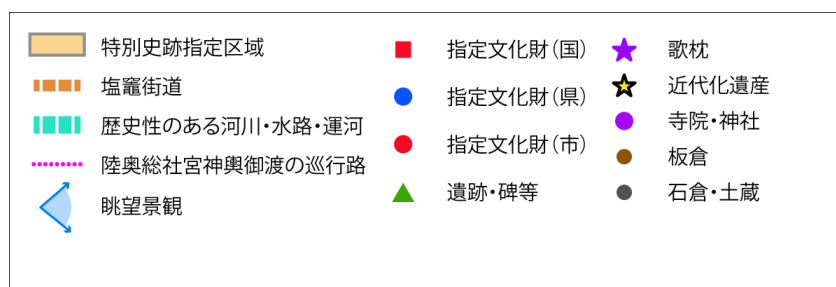


図 歴史的景観特性



〔特別史跡〕

■本市の歴史的風致を代表する「特別史跡多賀城跡附寺跡」

- ・古代に形成された遺跡は、地元の人々を中心に守り、伝えられ、それをとりまく自然環境と一体となって地域の原風景を形成しています。



遺跡と緑が一体として存在
(多賀城廃寺跡)

■多賀城跡からの眺望

- ・台地から仙台平野が見晴らせる眺望景観が、古代における東北地方の中心地選定の背景にあったと考えられており、仙台湾や蔵王連峰への眺望は、学校の校歌でも歌われているなど、本市にとっての原風景であるといえます。



多賀城跡から仙台平野を見晴らす景観

〔塩竈街道の歴史的風致〕

■江戸時代と変わらぬ位置に残る「街道と家並み」

- ・山王・南宮、市川地区など、塩竈街道沿いの集落景観の一部に古くからの街道景観が残されています。



江戸時代から続く街道の家並み（南宮）

■過去の面影を残す集落地

- ・江戸時代の農村集落の面影を残す山王・南宮・市川地区や、江戸時代の地割りが残る八幡地区は、民家の敷地内に板倉が点在し、農村集落に見る歴史的風致が残っています。



歴史的な趣きのある住宅（南宮）

■中世、近世以降の信仰、生活文化を記す寺社・石碑等

- ・塩竈街道沿いには、寺社・石碑などが分布し、五穀豊穡を祈る例大祭が行なわれるなど、信仰と祭礼が今日まで受け継がれ、街道や町並みと一体となった歴史的風致が形成されています。



陸奥総社宮の祭礼（市川）

〔歌枕の歴史的風致〕

■歌に詠み込まれた末の松山など

- ・小高い場所にある末の松山や、それに程近い場所にある沖の井は、いにしへの歴史や歌枕を感じ取ることができる場として多くの人々が訪れています。

ちぎりきな かたみにそでき しぼりつつ
すゑのまつ山 なみこさじどは
清原元輔（後拾遺和歌集）



末の松山

〔水辺の歴史的風致〕

■伊達政宗の治世から近代をつなぐ貞山運河

- ・藩政期に開削された貞山運河では、明治時代以降の改修に伴う石積護岸に歴史的景観が残っています。また船舶の通行や海苔養殖者による輸送、水揚げなど、生活文化景観もみられます。



貞山運河の景観

〔近代化遺産〕

■旧塩釜線、多賀城海軍工廠跡などの近代化遺産

- ・本市には県内最古の鉄道遺産といわれる旧塩釜線玉川橋梁や、太平洋戦争時の建造物が残るなど近代化遺産が分布しています。



海軍工廠時代の建造物
（多賀城駐屯地内）

(3) 自然的景観

東北の政治・軍事の中心地であった多賀城は、仙台平野と仙台湾を一望できる位置に築かれました。この地は大正 11 年（1922）、史跡に指定されたこともあり、史跡内には豊かな樹林地が残り、美しさと落ち着きのある景観をもたらしています。

市域を東西に流れる砂押川が海に直接注ぐほか、西端に広い河川敷を有する七北田川が流れ、東端に歴史性豊かな貞山運河が南北に続いています。また、中央の住宅地には、歌枕で有名な野田の玉川の水辺空間が市街地に潤いのある景観を形成しています。

西部には広大な農地が広がり、その背景には遠景として奥羽山脈の山並みや遠くの間（やまあい）に落ちる夕日が展望され、集落と一体となった広がりのある美しい景観を形成しています。

七北田川沿いに広がる田園地帯から砂押川の北東に広がる起伏に富んだ松島丘陵の端部には、斜面樹林地や緑の小丘陵が点在して、遠近感のある豊かな緑の景観を形成しています。

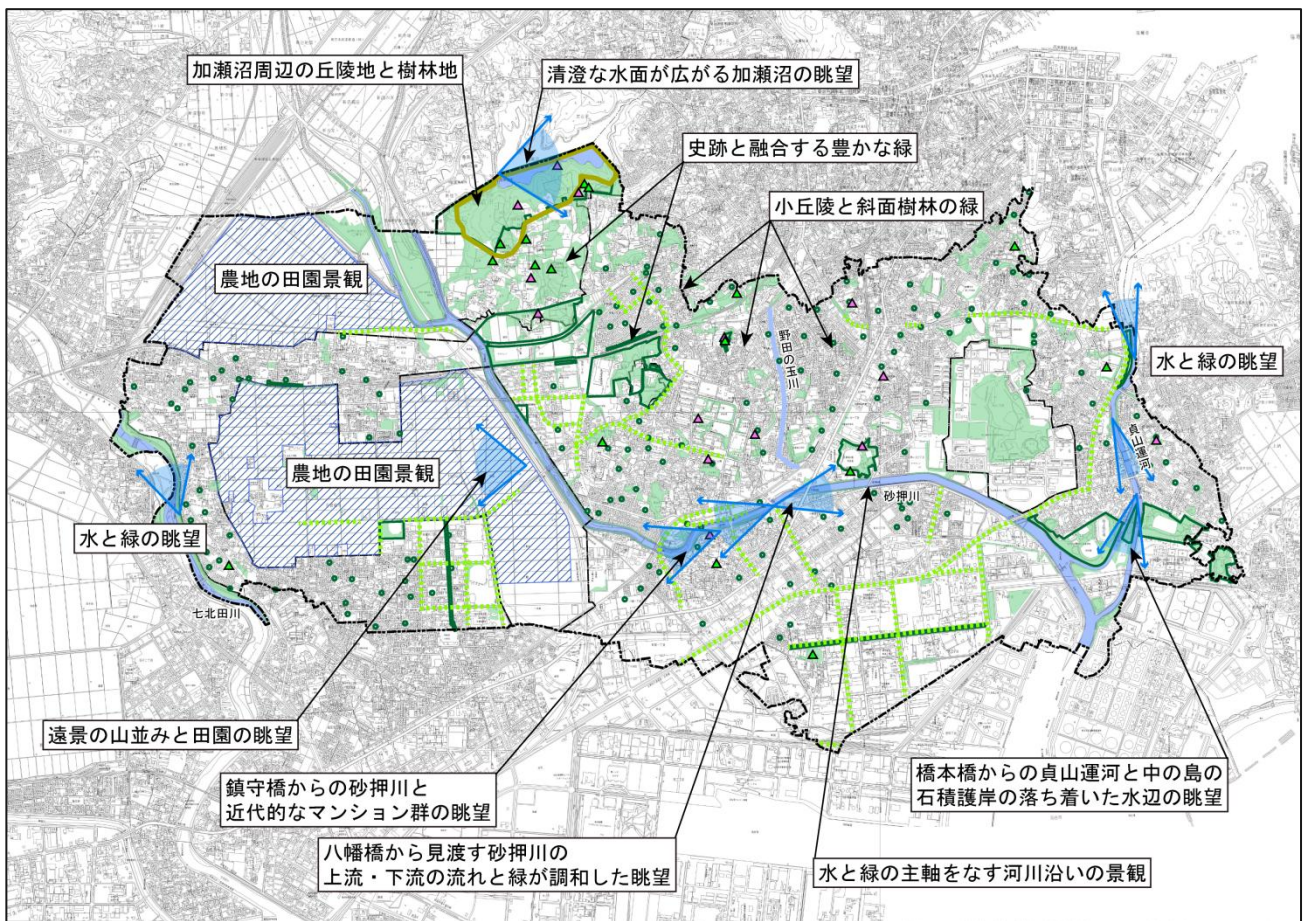
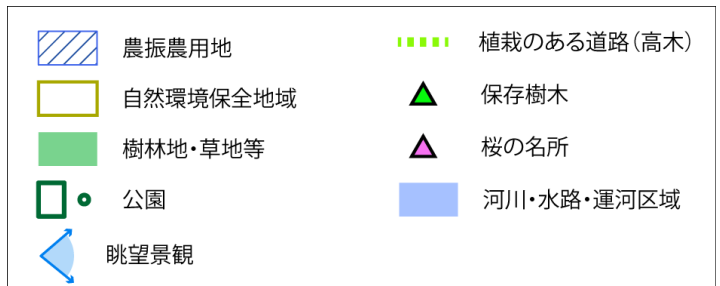


図 自然的景観特性



〔特別史跡〕

■「多賀城跡」を取り巻く豊かな緑

- ・多賀城跡周辺は、緑豊かな樹林に覆われ、史跡の広がりや緑の豊かさが多賀城らしい景観を作り出しています。

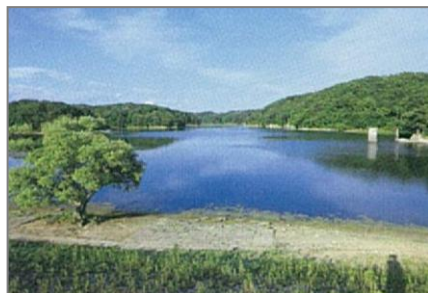


多賀城跡

〔水と緑の自然景観〕

■加瀬沼周辺の丘陵地と樹林地

- ・緑地保全地区の指定を受けている加瀬沼の水辺と丘陵地の景観が、多賀城跡の樹林地と一体となって広域的な緑地を形成しています。
- ・市民に親しまれている水辺の周辺などでは、季節ごとに樹木の色合いが変わり、また渡り鳥が見られるなど豊かな生態系による景観が見られます。



加瀬沼の水辺景観

■主軸となる水と緑の河川景観

- ・市中心部を流れる砂押川と仙台市との行政界を流れる西部の七北田川は、水辺の緑と水際のラインが市街地を貫き、本市の主要な景観軸を形成しています。
- ・貞山運河沿いは仙台港多賀城地区緩衝緑地や、斜面樹林など緑の資源が豊富にあるうえ、船だまりや船の往来が見られるなど、人々の生活によって形成された景観も見られます。



貞山運河の河川景観

■河川に沿った水と緑の眺望

- ・多賀城駅周辺から眺める砂押川は、市街地の高層住宅のなかに、緑に覆われた岸辺があり、野鳥が飛来する自然環境が残っています。
- ・七北田川の河川敷には遊歩道やレクリエーション施設があり、市民の憩いの場になっています。



砂押川の景観

■保存樹木と桜の名所

- ・多賀城跡周辺や市内の社寺境内には、老木、名木と称されているものや、地域の象徴木が点在し、特に保存すべき樹木を保存樹木として指定しています。
- ・加瀬沼公園や多賀城跡周辺をはじめ、市内各所で春になると桜が咲き誇り、身近な場所で季節感を感じさせています。



市川六月坂の桜

〔農地の田園景観〕

■西部に広がる優良農地

- ・市西部の優良農地は開放的な田園風景になっており、田植えとともに一面に緑が広がり、秋には黄金色に染まり、季節感を感じさせる景観をみせています。
- ・農地の広がりや遠景の山々が、豊かな自然を演出し、市街地に居ながら、のどかな田園の眺望景観を見ることができます。



遠景としての山と調和した
田園景観の眺望

〔小丘陵と斜面樹林の緑〕

■市内に点在する小丘陵

- ・「海に浮かぶ島」に喩えられ歌枕として詠まれた「浮島」は、浮島神社のある小丘陵で、このような地形は市内の東部に点在し、景観上の特徴となっています。

しほがまの 前に浮きたる 浮島の
浮きて思ひの ある世なりけり
山口女王（新古今和歌集）



浮島神社のある小丘陵

■「地形の記憶」をとどめる小丘陵と斜面樹林

- ・市街地に点在する斜面樹林は、丘陵樹林の名残を示すもので、小規模ながら、身近な緑を構成する要素となっています。



建物の間にみられる小丘陵の樹林（中央）

■小丘陵や斜面樹林による「緑のスカイライン」の眺望

- ・小丘陵や斜面に残る樹林が、遠景・中景・近景のなかに点在し、眺望景観のなかで重なり合い、緑のスカイラインを形成しています。



多賀城駅付近からの眺望

(4) 都市的景観

昭和 40 年代以降、生活や就業の中心地である仙台市の発展とともに、隣接する本市も発展を続けてきました。

市内には公共交通機関としてJR東北本線、JR仙石線が通っており、各線合わせて 4 駅が設置されており、広域道路交通網としては、三陸縦貫自動車道や国道 45 号、主要地方道仙台・塩釜線（産業道路）などが整備されていることから、交通利便性に優れ、住宅地や商業地としての整備が進んでいます。

地区計画により計画的な面整備が行われている高橋地区、城南地区、多賀城駅周辺地区では周囲と調和した良好な住宅地景観が形成され、仙台港背後地地区では、国際拠点港湾の仙台塩釜港（仙台港区）の背後地にふさわしい周辺環境に配慮した工場立地が進んでいます。

多賀城駅周辺は面整備による中心市街地の形成が進められ、国道 45 号、産業道路など幹線道路沿道では商業立地が進んでいます。

本市はこのような地域の特性を生かすために用途地域を定め、土地利用を誘導することにより、近代的な、秩序ある都市景観が形成されています。

また、潤いのある市街地形成に向けて、公園の整備や街路樹による緑化が計画的に進められるとともに、市民による花いっぱい運動などにより、美しい街なみ景観の形成が進んでいます。

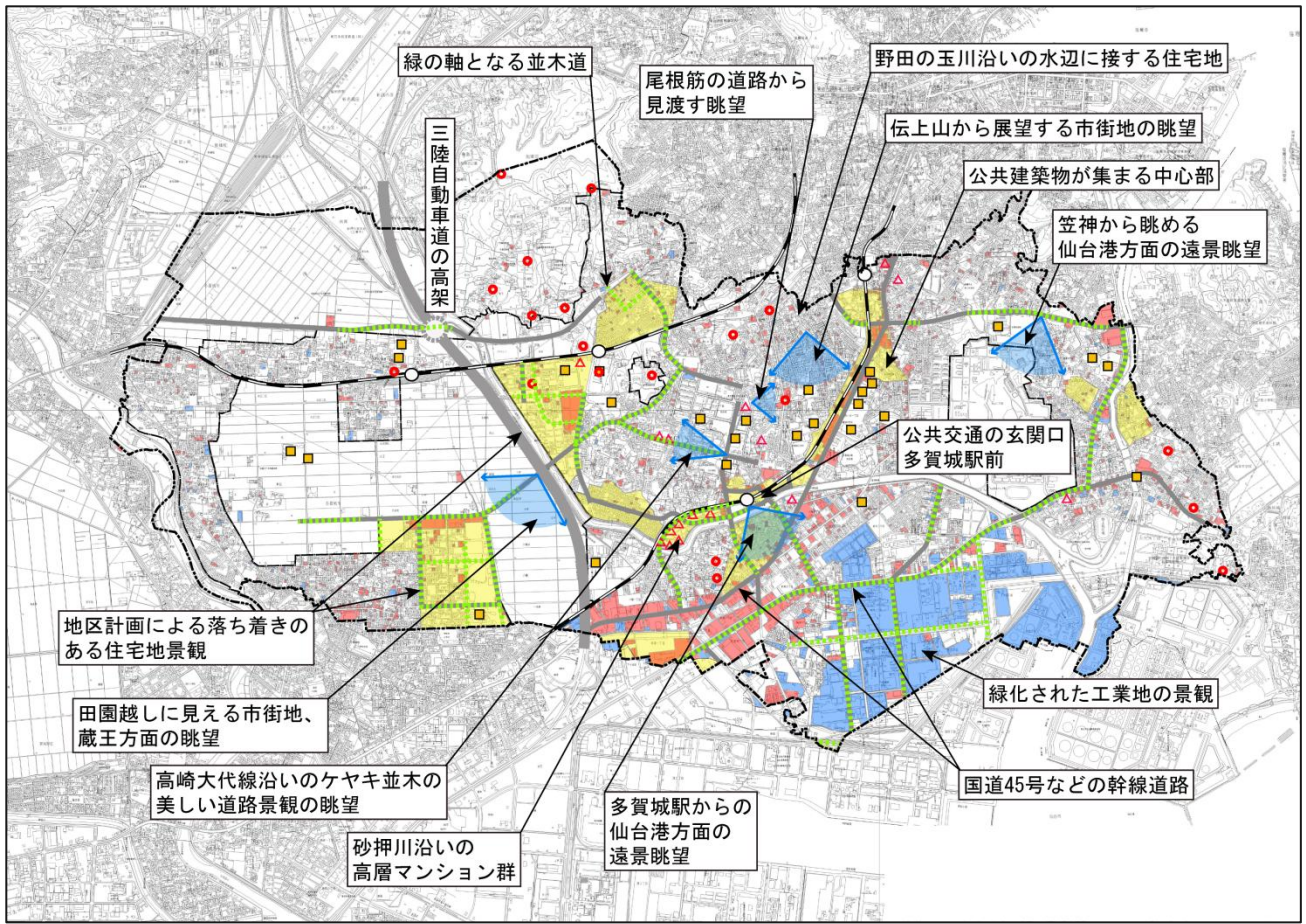
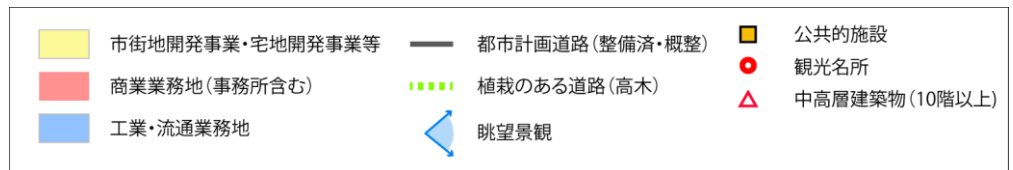


図 都市的景観特性



〔落ち着いたある良好な住宅地景観〕

■面整備住宅地

- ・高橋地区、城南地区では地区計画による計画的な整備により、生垣や壁面後退など、街なみ景観の整備が行われています。



地区計画によるまち並み（高橋地区）

■身近な緑に触れ合える整備水準が高い街区公園

- ・住居を中心とした市街地には概ね街区公園が整備されており、公園内の植栽が、緑に触れ合える身近な場所になっています。



身近な街区公園（城南地区）

〔公共施設の景観〕

■公共建築物

- ・多くの人が集まる公民館や文化施設などは、建築物そのものだけではなく、敷地内の樹木や庭石、モニュメントなどが身近な景観要素となっています。
- ・小学校や中学校の校舎や体育館、校庭の遊具、シンボルツリーなど、同じ場所に長く存在する施設は、子供の頃の記憶に残る懐かしい原風景の場所にもなっています。



文化センター

■公共交通の玄関口となる多賀城駅前

- ・鉄道やバスの利用者が多く集まる多賀城駅は、公共交通の玄関口として、本市の「顔」と位置づけられます。
- ・多賀城駅周辺では、JR仙石線の連続立体交差事業や土地区画整理事業など、本市の玄関口にふさわしい都市拠点の整備が進んでいます。



多賀城駅前

〔良好な街なみ景観〕

■緑の軸となる並木道

- ・街路樹や並木道の高木の連なりは、緑の軸を形成し、無機質な市街地の都市景観に潤いを与え、行き交う人々に安らぎを与えます。
- ・街路樹や並木道の樹木は、春の桜、夏の新緑、秋の紅葉など四季を身近に感じることができます。



高木の街路樹の連なり（中央）

■幹線道路

- ・高架構造の三陸縦貫自動車道は、東日本大震災による津波の影響も少なく、物資や人の輸送に重要な役割を果たしました。この道路を通行する車両からは本市の田園地帯や市街地を見渡すことができます。
- ・広域交通軸となる国道 45 号や主要地方道仙台・塩釜線（産業道路）等の沿道は、大規模な商業系土地利用が進み、賑わいのある景観を形成しています。



南宮神社と三陸縦貫自動車道

■工業地

- ・市南東部に広がる大規模な工業地は、東日本大震災による津波の被害を受けましたが、復興とともに再建が進み、敷地内の緑化も進められています。



緑化された工業地（桜木）

〔自然と調和した街なみ景観〕

■市街地の河川・水辺景観

- ・多賀城駅周辺の砂押川は、高層マンションの真横をぬって、ゆるやかに流れており、都市のなかに潤いを与えています。
- ・野田の玉川沿いは、閑静な住宅地が連なり、改修された水辺景観と住宅地景観が一体となって美しい街なみを形成しています。



砂押川沿いの高層マンション群

■尾根筋の道路から見渡す眺望

- ・市内各所の丘陵地では、尾根筋の道路を通して市街地や田園地帯を見渡す眺望が見られ、街なみの広がりを感じる景観となっています。



尾根筋から見渡す眺望（笠神）

5-2 景観形成の課題

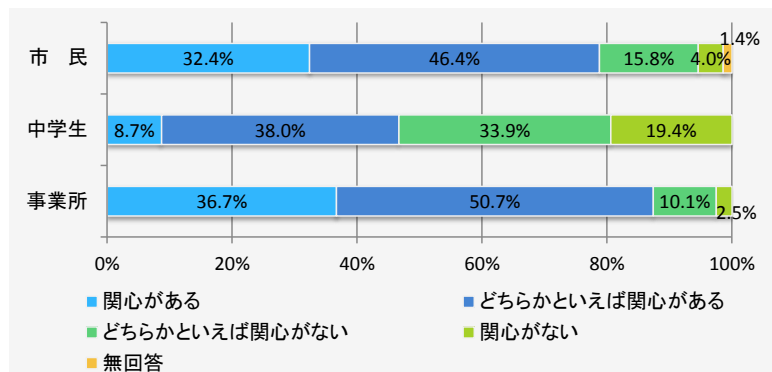
(1) アンケート調査による景観に関する市民の主な意見

平成 24 年度に市民（20 歳以上の男女 4,000 人、回答率 37%）、事業者（従業員 10 人以上の民営事業所 181 事業所、回収率 44%）、中学生（市立中学校の 2 年生、613 人、回収率 93%）を対象に行った「景観に関するアンケート調査」について、主な意見をまとめると次のように整理されます。

➤ **景観に対する関心は市民、事業者で高く、重要度はすべての調査で高くなっています。**

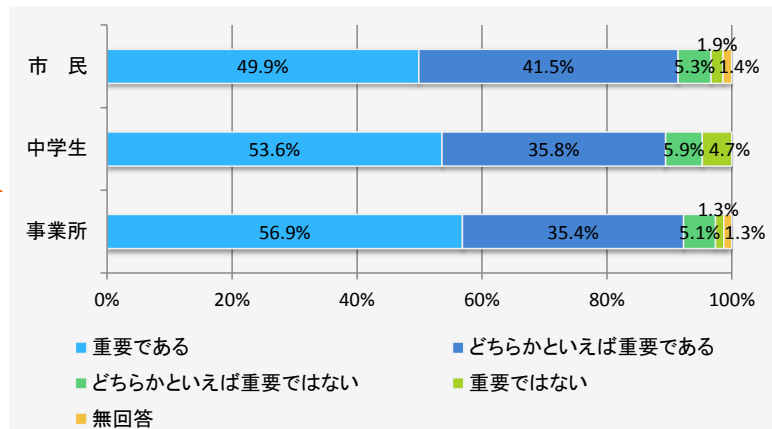
〔関心度〕あなたは多賀城市の景観に関心がありますか。

- 市民、事業所の約8割が景観に対して高い関心を示しています。
- 次代を担う中学生は5割程度が関心を持っています。



〔重要度〕あなたは多賀城市の今後のまちづくりにおいて、良い街なみや風景、眺望を守ったり、新しい良い街なみなどをつくったりしていくことが重要だと思いますか。

- すべての調査で景観を重要と考えている割合が8割を超えました。
- 中学生もまちづくりにおける景観の重要性は感じているようです。



〔満足度〕あなたは今の多賀城市全体の景観に満足していますか。

- 市民、事業者は、満足している人としていない人の割合がおおよそ半々になっています。
- 中学生は半数を超える6割超が満足しています。

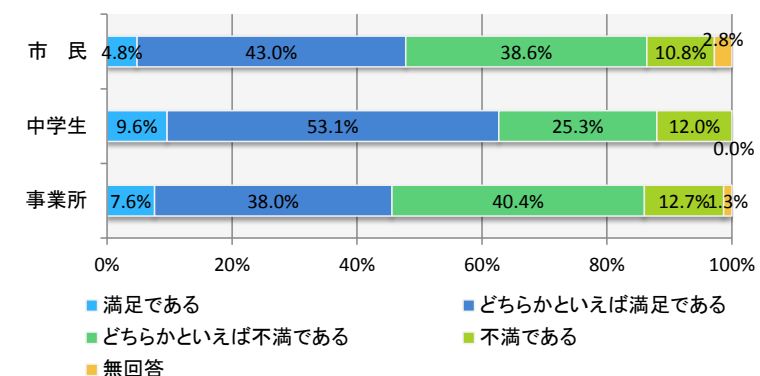
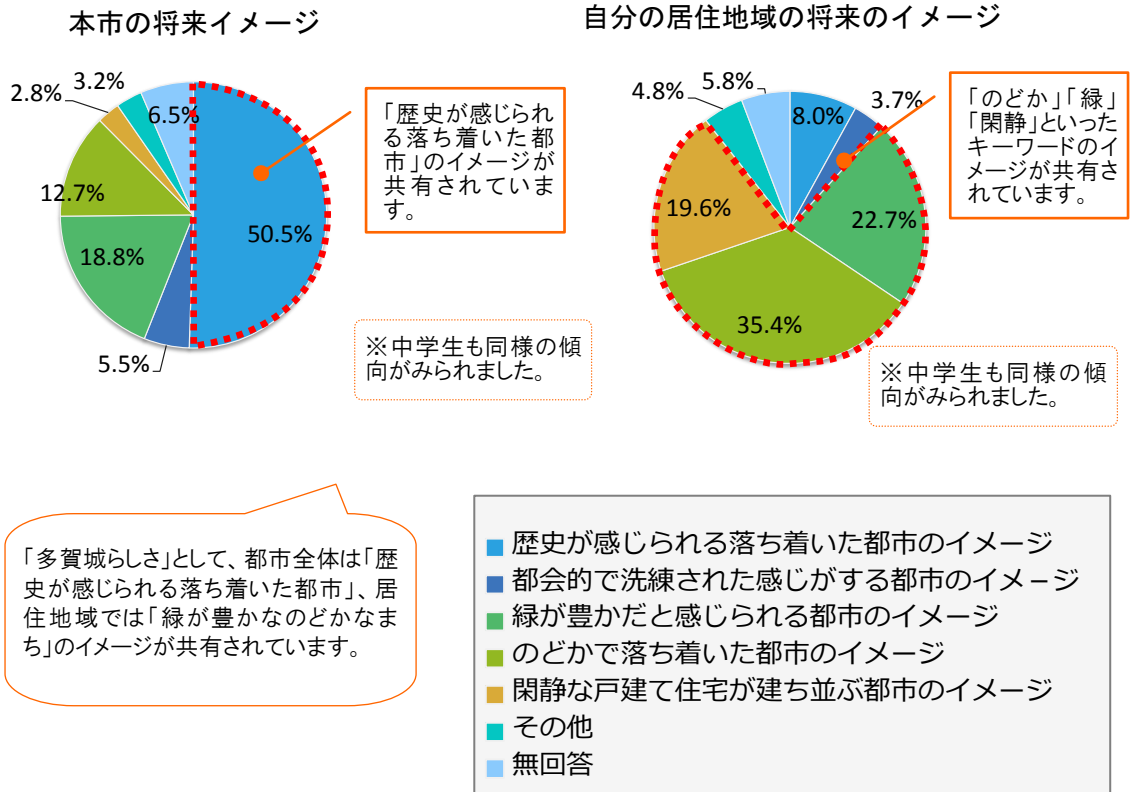


図 景観への関心度・重要度・満足度意識

➤ 「歴史」「自然」を共通意識としている市民の景観イメージ

将来、多賀城市の景観はどのようなイメージの都市になると良いと思いますか。
(一般市民の回答)



アンケート調査より（抜粋）

- 景観への関心は市民や事業所では高くなっていますが、中学生の関心は低いようです。
- すべての調査で景観への取組みが重要であると考えられています。また、今後は、中学生などの若年層や景観活動に参加していない層の景観意識の向上に向けた取組みや多様な機会を提供することが重要であると考えられます。
- 一般市民の中には、景観づくりに関心は持っていますが、景観づくりの活動には消極的な方も見受けられます。
- 景観まちづくりへの身近な取組みとして家の周囲の清掃や道路に面した部分の生垣・庭木の手入れや、花づくりなど住まい周辺の美化や緑化などの取組みを行っている市民も半数以上見受けられます。

(2) 景観形成に関する課題

景観の現状及び景観特性、市民意識等を踏まえて、本市の景観形成に関する課題は次のように整理されます。

① 歴史的景観の保全と魅力の向上

<現状・課題>

本市には、史跡等の文化財のほか、八幡の沖の井や南宮の板倉など地域固有の歴史資源が多く残っていますが、このような資源等及び周辺的环境には主に次のような現状がみられます。

- ・ 歴史資源の老朽化や震災被害による破損・滅失
- ・ 都市化による歴史的風致の喪失
- ・ 歴史的風致に影響を及ぼす高層建築物の立地

<検討の方向性>

近年、都市化や震災により多くの歴史資源が消失の危機にさらされ、本市特有の史跡や歴史的風致などの良好な景観の喪失や魅力の低下が懸念されており、かけがえのない歴史資源の保全と歴史的景観の魅力向上に向けた取組みが必要となっています。

<考慮すべき事項>

- ・ 都市のシンボル景観となる史跡や歴史的風致の維持・保全
- ・ 破損した歴史的景観資源の修復及び維持継承
- ・ 本市の歴史的資源、歴史的風致を活かした魅力ある市街地景観、自然景観の形成
- ・ 貴重な歴史的風致が残る地域の景観資源の保全と活用



震災による歴史的建造物の被害状況

② 自然と緑の再生・保全・創出

<現状・課題>

都市化が進む市域の中に豊かな自然や緑が点在していますが、近年の自然・緑の現状には主に次のような変化がみられます。

- ・宅地開発等による市街地内に点在する小丘陵や斜面緑地の減少
- ・維持管理の困難さ等による宅地内の庭木の減少
- ・幹線道路の延長、公園の増加等公有地の拡大による緑の維持管理費の増加

<検討の方向性>

宅地開発及び都市施設の整備による土地利用の拡充が進む反面、市街地内に点在していた緑地が減少し、住宅等では世代交代や高齢化による敷地内樹木の維持管理が困難になり伐採されるなど、緑の維持保全に向けた対策が必要になっています。

また、行政側でも公共施設内の樹木等の維持管理費の増加に対する対策が必要になっています。

<考慮すべき事項>

- ・土地利用の拡充に併せて公園の整備や道路の街路樹による緑の確保
- ・住宅等敷地における緑の保全・緑化の推進
- ・公共施設内の緑化の推進と緑の適切な維持管理の検討

平成 13 年撮影



平成 25 年撮影



宅地開発等による市街地に点在する小丘陵や斜面緑地の減少の状況

③ 良好な都市景観の保全と創出

<現状・課題>

本市の中心市街地の発展にともなう建築物その他周辺環境への影響と、住宅地の建築物の街並みへの影響、少子高齢化社会における住宅地の現状、そして東日本大震災による市街地への影響は次のような状況がみられます。

- ・ JR 多賀城駅周辺の再開発ビル・民間建築物の、本市の玄関口にふさわしい街なみ景観への配慮
- ・ 駅周辺の放置自転車による歩行環境・景観の悪化
- ・ 住宅の派手な色彩、高彩度の建築物の立地による周辺建築物との不調和
- ・ 居住者の死亡や転居、相続人が居住しないことなどによる空き家の増加
- ・ 東日本大震災による建築物解体後の空き地の増加と今後の利用

<検討の方向性>

JR 仙石線多賀城駅周辺の中心市街地活性化を推進する必要があります。併せて本市の玄関口として良好な景観と環境を創出していくことが必要とされています。

住宅地では、周辺住宅と調和したのどかで落ち着いたある閑静な住宅地の景観を創出していくことが必要とされるとともに、空き家・空き地については所有者による適切な管理が必要とされています。

震災で壊滅的な被害を受けた宮内地区では土地区画整理事業が進められるなど新たな都市整備が行われています。

<考慮すべき事項>

- ・ JR仙石線多賀城駅周辺における本市の玄関口にふさわしい良好な市街地空間の創出
- ・ 本市特有の歴史的風致と建築物等の調和
- ・ のどかで落ち着いたある閑静な住宅地を形成する良好な環境の保全・創出
- ・ 津波被災地における市街地の復興と良好な環境の形成



多賀城駅前の放置自転車



震災後の建築物解体による空き地

④ 景観形成に向けた市民協働の推進

<現状・課題>

本市では、公園や街路樹など整備され、市民の緑化を推進する生け垣づくり事業や花のまちづくり事業等も実施されていますが、緑や景観の維持管理、創出における現状は次のような状況がみられます。

- ・景観を重要とする市民意識の高さはあるが、若者の景観への意識や関心の低さ
- ・花のまちづくり事業は毎年同一団体による申請が多く、新規団体の申し込みが低調
- ・高齢化やライフスタイルの多様化による、庭木の維持管理の難しさ

<検討の方向性>

道路、公園、河川等の公共施設整備にあたっては、周辺環境に考慮した施設整備により、市民が良好な景観に触れ合える環境を創出していくことが必要とされています。

また、市民による歴史的景観の保全や、良好な街なみ景観の形成により、住み続けたいまち、誇れるまちとして、郷土愛を育む取組みも必要になっています。

<考慮すべき事項>

- ・市民、事業所と行政の協働による景観づくり活動の活性化
- ・景観意識の低い市民層の景観づくりへの参加の促進
- ・若年世代等景観への関心の低い層への啓発活動の推進
- ・市民への景観情報の提供及び景観形成の組織づくり、支援体制の確立



庭木の維持管理の難しさ（イメージ）